

# やきり

矢切地区社会福祉協議会

事務局 〒271-0094 松戸市上矢切299-1 (総合福祉会館内)  
編集発行 広報部 (電話 047-368-0560・FAX 兼用)

地球の温暖化で異常気象、局地的大雨が増えています。気温が上がります。空中に含まれる水蒸気量が多くなっているため、一時間当たり降水量80mm以上の回数、一日当たり降水量400mm以上の日数は、いずれも増えていきます。最大風速60以上のスーパー台風も増える

## 地球に何が起きているのか

講師は気象予報士の伊東譲司さんです。テーマは「豪雨災害！どう命を守る」です。お話の一部を紹介します。



講演する伊東譲司さん

矢切地区社会福祉協議会では11月25日に総合福祉会館で防災講演会を行いました。

## 豪雨災害から命を守る

短時間の降水量も増えています。過去に災害が無かったからといって、必ずしも安全でない事を肝に銘じておかなければいけません。

### 観測・予報も改善

気象衛星ひまわり8号や気象レーダー観測技術、観測網の充実で、雨雲をより精度良く予測し、より速く提供できるようになっています。携帯やスマホから、インターネットを通じ気象庁のホームページを見れば



出典：気象庁

ば雷雲の様子や予測が見られます。気象災害の防災情報として、大雨洪水警報、指定河川の洪水予報、土砂災害警戒情報などがあります。

### 大雨になったらいつ避難するのか

- 大雨・洪水警報（危険度レベル3）は避難準備です。
- 大雨警報・洪水警報の更新や指定河川洪水予報レベル4（危険度レベル4）の発表があれば「避難勧告」、危険箇所に住んでいる人は避難を始めてください。
- 土砂災害警戒情報や記録的短時間大雨情報、指定河川洪水予報レベル4・5などや、その上の特別警報が出れば警報級より一段上のきわめて危険な状況に達しており、すでに重大な災害が発生している恐れがあります。当該地域の住民全員が避難する「避難指示」の段階で、危険箇所にいる住民はすでに避難を完了しておく必要があります。
- 気象庁が今年7月からホームページで発表している土砂災害危険度分布や浸水害危険度分布、洪水警報の危険度分布は、大雨警報と洪水警報を補足する情報です。危険度を5段階で判定しています。予測時間は2時間先、洪水は3時間先までとなっています。大雨が予想される際には、これらの情報をこまめにチェックして、早めの避難準備や安全行動をとるようにし、薄紫色の「非常に危険」の表示を見たら、必ず避難してください。

(2面に続く)

## 金婚(結婚50年)おめでとうございます



記念写真撮影

矢切地区の結婚50年記念式典が11月12日、松戸市総合福祉会館で行われました。松戸市社会福祉協議会では結婚50年を迎えられたご夫婦に記念品を贈呈しています。

矢切地区社協では民生委員の協力を得て、祝賀会と食事会、写真撮影を行いました。申し込まれた地区内のご夫婦31組の内、当日は19組が祝賀会に参加。多目的ホールでご紹介し、お一人お一人に記念品と花束を手渡しました。その後、会館内で会食とマジックのアトラクションを楽し



食事会

まれました。今回は、昭和43年(1968年)8月31日までに結婚された市内在住のご夫婦です。それ以前に50年を迎えられ、これまで申請されていない方も参加されました。松戸市内では743組に記念品が贈呈されました。

## 活動紹介 「ふれあい会食会」

矢切地区社協の会食部による「ふれあい会食会」は、矢切地区にお住まいの70歳以上の方を対象に年8回、総合福祉会館で行っています。10月17日は88名が参加されました。料理は、豚肉のはさみ揚げ、サツマイモのきんとん、煮物、酢の物、味噌汁です。皆さんおいしくいただき、大好評でした。食事後の催しとして、「般若亭心経」(代表・小倉広弥)の手品が披露され、参加者を喜ばせました。続く11月7日の「ふれあい会食会」の参加者は84名でした。料理は炊き込みご飯、ブリの照り焼き(かぶの甘酢え)、フルーツサラダ、揚げの卵詰め煮、漬物、味噌汁で、特にブリの照り焼きが好評でした。食事後の催しは、「スマイルクラブ」の黒田逸実さんが300枚のレコードを持参し、30曲のリクエスト曲を鑑賞しました。

## ボランティア募集

防災部員 若干名  
地域での防災・救急活動を企画・運営しています。  
広報部員 若干名  
社協活動の紹介や年3回、広報紙「やきり」「矢切地区社協だより」を発行しています。  
ご応募は、矢切地区社協事務局までご連絡ください。

お問い合わせは  
**矢切地区社協**  
〒271-0094 松戸市上矢切299-1  
総合福祉会館内  
電話 047-368-0560



松戸第二中学校吹奏楽部の歌とダンスと演奏



松戸市消防音楽隊の演奏



向日葵太鼓の和太鼓演奏



子ども会の輪投げを楽しむ子どもたち



保健師の健康相談

よさこい元気の会のよさこい鳴子踊り



松戸向陽高校の電動シニアカー試乗



矢切特別支援学校のボッチャ



お年寄り体験をする子どもたち



焼きそば作り

柿ノ木台小学校金管バンド部の演奏



地域の人たちが世代をこえて集う「矢切地区ふれあい広場」が、11月12日、上矢切の松戸市総合福祉会館で開かれました。多目的ホールでは、柿ノ木台小学校、矢切小学校、第二中学校、松戸向陽高校、松戸市消防音楽隊の演奏、ハワイアンダンスやヨサコイソーラン、児童合唱、太鼓演奏、ダンスなどが披露されました。会館内では、各団体やサークルが



「マールチョコ」のダンス

ゲーム、人形芝居、紙芝居、シャボン玉、カローリング、折り紙、バザー、模擬店などが出され、訪れた人びとが楽しみました。

地元の三世代が生き生き交流 矢切こどもまつり

人的被害を出さないためにどうすれば良いのか

日頃から気象庁の防災情報を見て、内容を理解し、早めの準備を心がけるようにしましょう。ハザードマップ(災害被害等の予測を表わした地図)を見て、いざというときの心の準備をしましょう。町内会など、地域ぐるみでコミュニティタイムライン(CTL)を作成し、気象災害に備えましょう。

台風被害を想定した地区のコミュニティタイムライン(CTL)の例

Table with 3 columns: 災害発生までの時間, 町内会と住民が取るべき行動, 想定される行政の動き. It details actions for typhoon approach, 3 days before, 1 day before, 12 hours before, 6 hours before, 3 hours before, and water damage.



上の図は矢切地区の水害ハザードマップ。青色と黄色は江戸川が決壊した場合の浸水想定地域。赤色の斜線は坂川の浸水想定区域。



向陽高校吹奏楽部の演奏